

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成26年10月23日 (2014.10.23)

【公表番号】特表2013-537193(P2013-537193A)

【公表日】平成25年9月30日 (2013.9.30)

【年通号数】公開・登録公報2013-053

【出願番号】特願2013-528244(P2013-528244)

【国際特許分類】

C 0 7 D 231/16 (2006.01)

C 0 7 D 261/18 (2006.01)

C 0 7 D 413/12 (2006.01)

C 0 7 D 417/12 (2006.01)

C 0 7 D 403/12 (2006.01)

C 0 7 D 233/90 (2006.01)

C 0 7 D 249/04 (2006.01)

A 6 1 K 31/496 (2006.01)

A 6 1 K 31/5355 (2006.01)

A 6 1 P 31/16 (2006.01)

A 6 1 P 31/12 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 D 231/16

C 0 7 D 261/18 C S P

C 0 7 D 413/12

C 0 7 D 417/12

C 0 7 D 403/12

C 0 7 D 233/90 A

C 0 7 D 249/04 5 0 6

A 6 1 K 31/496

A 6 1 K 31/5355

A 6 1 P 31/16

A 6 1 P 31/12

【手続補正書】

【提出日】平成26年9月4日 (2014.9.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

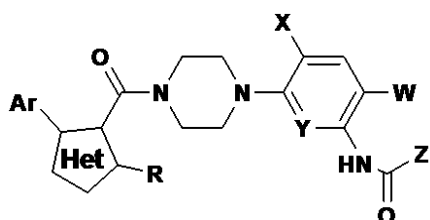
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式 I :

【化 1】



( I )

[ 式中、

H e t は、 - A r 基に隣接するか、または - A r 基の結合点に隣接する - N、 - O または - S を有する 5 または 6 員ヘテロ環であり；

A r は、アリールまたはヘテロアリールであり；

R は、 - C H<sub>3</sub>、 - C H<sub>2</sub>F または - C H = C H<sub>2</sub> であり；

W は、 - N O<sub>2</sub>、 - C l、 - B r、 - C H O、 - C H = C H<sub>2</sub> または - C N であり；

X は、 - C l、 - C H<sub>3</sub> または - C N であり；

Y は、 - C H または - N であり；ならびに

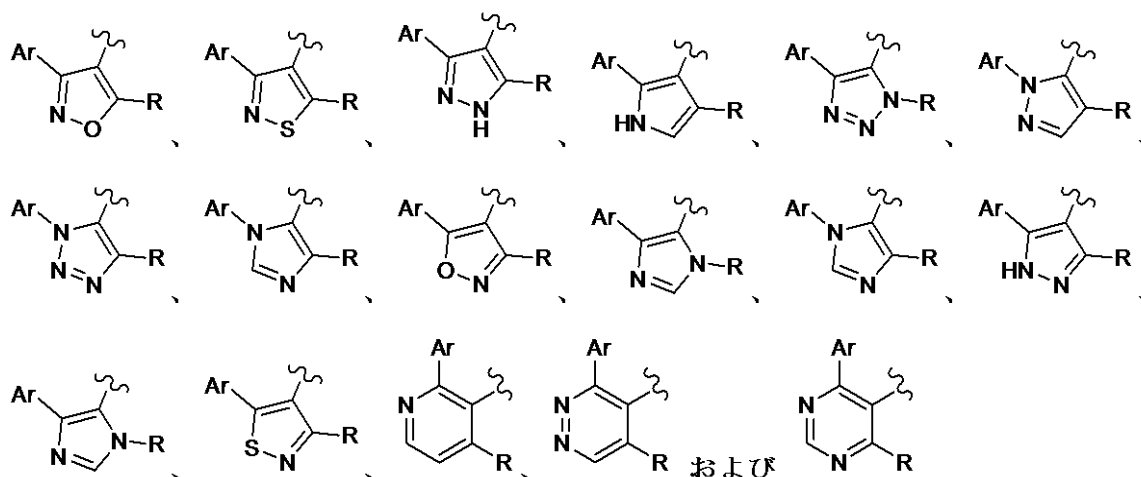
Z は、C<sub>1</sub> ~ C<sub>6</sub> アルキル、C<sub>3</sub> ~ C<sub>6</sub> シクロアルキル、置換アリール、置換ヘテロアリール、O R<sup>1</sup> または N H R<sup>1</sup> であって、R<sup>1</sup> は、H、アリール、ヘテロアリール、C<sub>1</sub> ~ C<sub>6</sub> アルキルおよび C<sub>3</sub> ~ C<sub>6</sub> シクロアルキルの群から選択されるものである ]

の化合物またはその医薬的に許容される塩。

【請求項 2】

H e t が、

【化 2】



の群から選択されるものである、請求項 1 に記載の化合物。

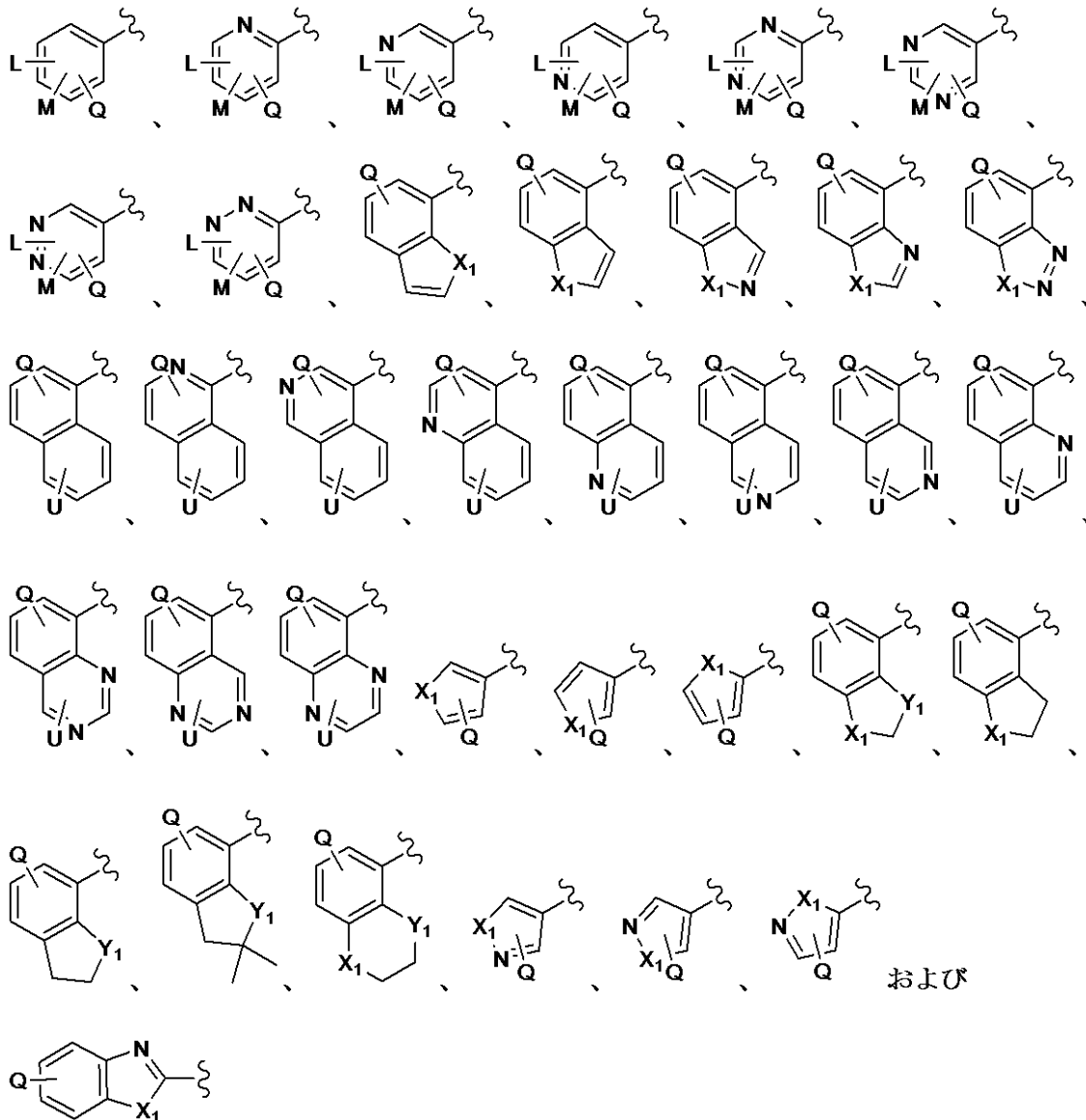
【請求項 3】

H e t が、 - A r 基の結合点に隣接する - N を有する 5 または 6 員ヘテロ環である、請求項 2 に記載の化合物。

【請求項 4】

A r が、

## 【化 3】



[ 式中、

L は、H、ハロゲン、シアノ、ヒドロキシル、アミノ、アルキル、アルコキシ、アルキルアミノまたはアミドであり；

M は、H、ハロゲン、シアノ、ヒドロキシル、アミノ、アルキル、アルコキシ、アルキルアミノまたはアミドであり；

Q は、H、ハロゲン、シアノ、ヒドロキシル、アミノ、アルキル、アルコキシ、アルキルアミノまたはアミドであり；

U は、H、ハロゲン、シアノ、ヒドロキシル、アミノ、アルキル、アルコキシ、アルキルアミノまたはアミドであり；

X<sub>1</sub> は、O、NH、N - アルキル、N - アリール、S または CH<sub>2</sub> であり；ならびに

Y<sub>1</sub> は、O、NH、N - アルキル、N - アリール、S または CH<sub>2</sub> である ]

の群から選択されるものである、請求項 1 に記載の化合物。

## 【請求項 5】

Ar が、フェニルである、請求項 4 に記載の化合物。

## 【請求項 6】

Ar が、メトキシまたはヒドロキシルで置換されたフェニルである、請求項 5 に記載の化合物。

## 【請求項 7】

Wが、 $-\text{NO}_2$ 、 $-\text{Cl}$ 、 $-\text{Br}$ または $-\text{CN}$ である、請求項1に記載の化合物。

【請求項8】

Xが、 $-\text{Cl}$ または $-\text{CN}$ である、請求項1に記載の化合物。

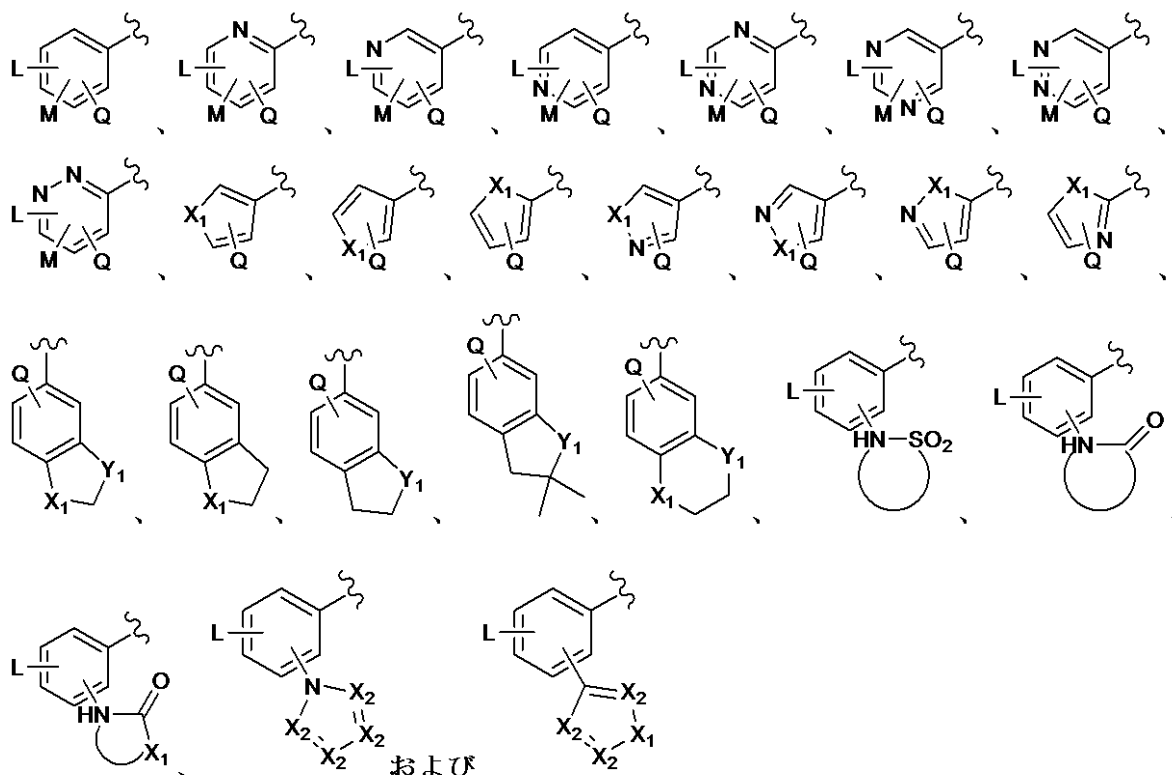
【請求項9】

Yが、 $-\text{CH}$ または $-\text{N}$ であり、Arが、メトキシまたはヒドロキシルで置換されたフェニルである、請求項1に記載の化合物。

【請求項10】

Zが、

【化4】



[ 式中、

Lは、H、ハロゲン、シアノ、ヒドロキシル、アミノ、アルキル、アルコキシ、アルキルアミノまたはアミドであり；

Mは、H、ハロゲン、シアノ、ヒドロキシル、アミノ、アルキル、アルコキシ、アルキルアミノまたはアミドであり；

Qは、H、ハロゲン、シアノ、ヒドロキシル、アミノ、アルキル、アルコキシ、アルキルアミノまたはアミドであり；

Uは、H、ハロゲン、シアノ、ヒドロキシル、アミノ、アルキル、アルコキシ、アルキルアミノまたはアミドであり；

X<sub>1</sub>は、O、NH、N - アルキル、N - アリール、SまたはCH<sub>2</sub>であり；

X<sub>2</sub>は、NまたはCHであり；ならびに

Y<sub>1</sub>は、O、NH、N - アルキル、N - アリール、SまたはCH<sub>2</sub>である ]

の群から選択される、置換アリールまたは置換ヘテロアリールである、請求項1に記載の化合物。

【請求項11】

Zが、置換フェニルである、請求項10に記載の化合物。

【請求項12】

前記フェニルが、窒素含有成分で置換されている、請求項11に記載の化合物。

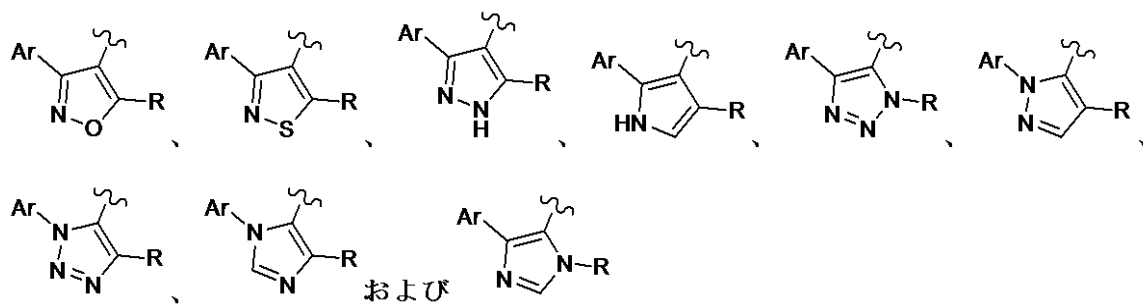
【請求項13】

Rが、 $-\text{CH}_3$ または $-\text{CH}_2\text{F}$ である、請求項1に記載の化合物。

## 【請求項 14】

H e t が、

## 【化 5】

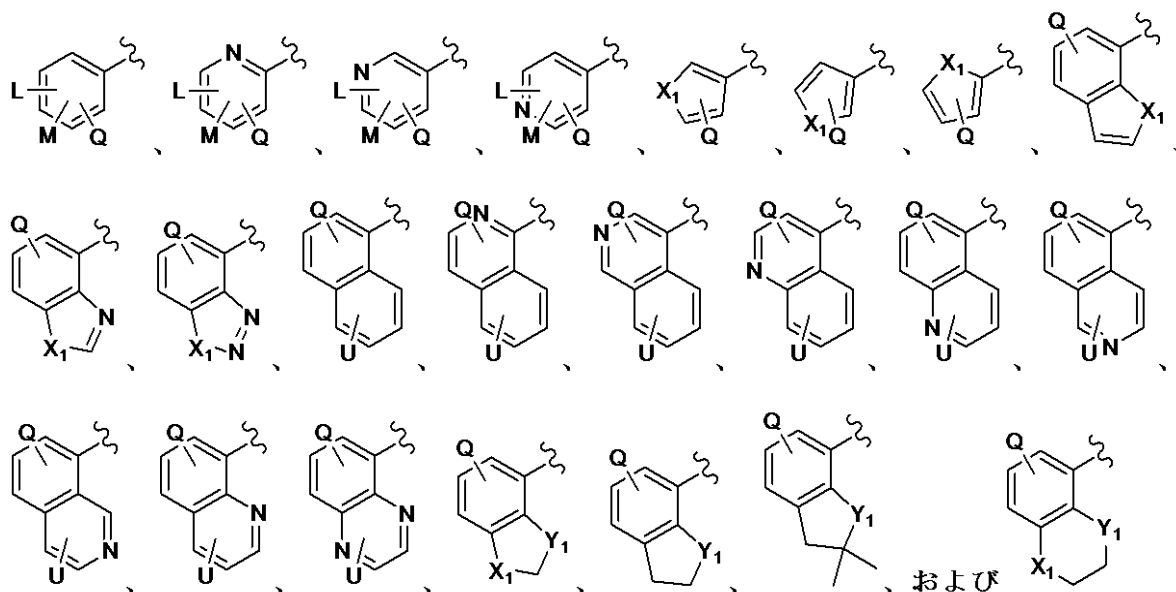


の群から選択されるものである、請求項 2 に記載の化合物。

## 【請求項 15】

A r が、

## 【化 6】



の群から選択されるものである、請求項 4 に記載の化合物。

## 【請求項 16】

W が、 $-NO_2$ 、 $-Cl$  または  $-Br$  である、請求項 7 に記載の化合物。

## 【請求項 17】

X が、 $-Cl$  である、請求項 8 に記載の化合物。

## 【請求項 18】

Y が、 $-CH$  または  $-N$  である、請求項 9 に記載の化合物。

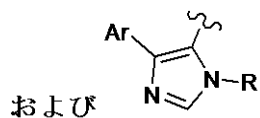
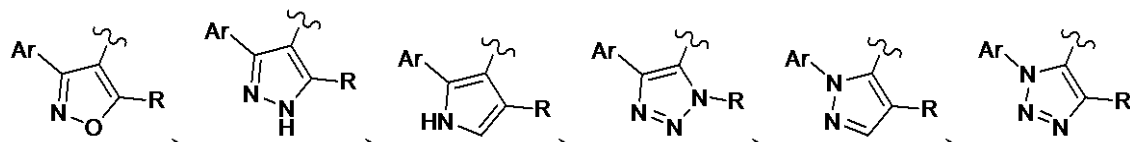
## 【請求項 19】

R が、 $-CH_3$  である、請求項 13 に記載の化合物。

## 【請求項 20】

H e t が、

## 【化 7】

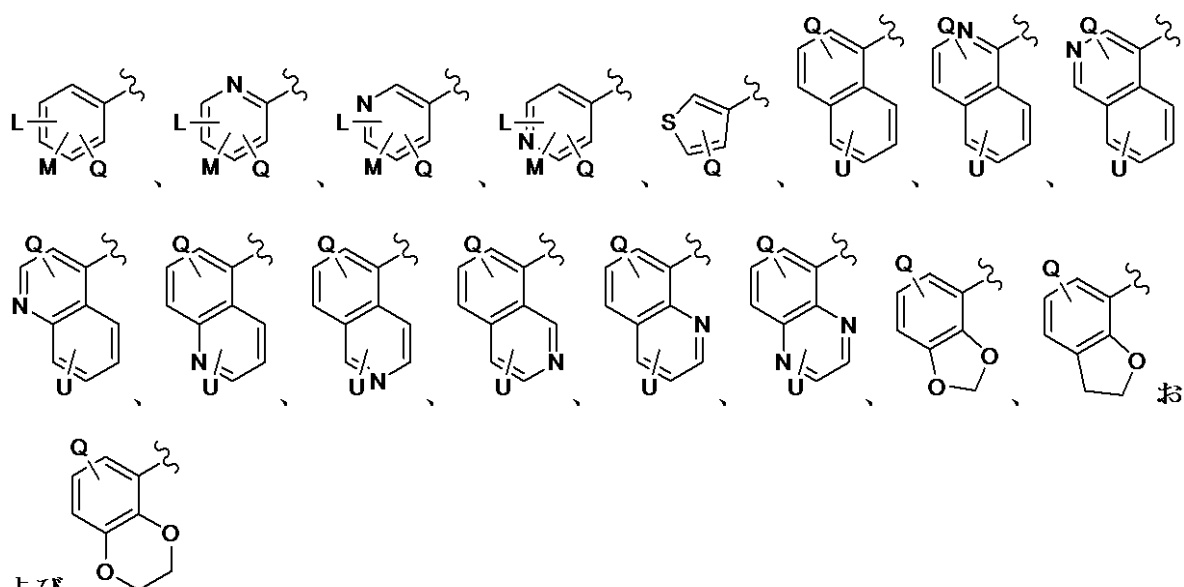


の群から選択されるものである、請求項 1 4 に記載の化合物。

## 【請求項 2 1】

Ar が、

## 【化 8】



の群から選択されるものである、請求項 1 5 に記載の化合物。

## 【請求項 2 2】

Ar が、フェニルである、請求項 2 1 に記載の化合物。

## 【請求項 2 3】

Ar が、メトキシまたはヒドロキシで置換されたフェニルである、請求項 2 2 に記載の化合物。

## 【請求項 2 4】

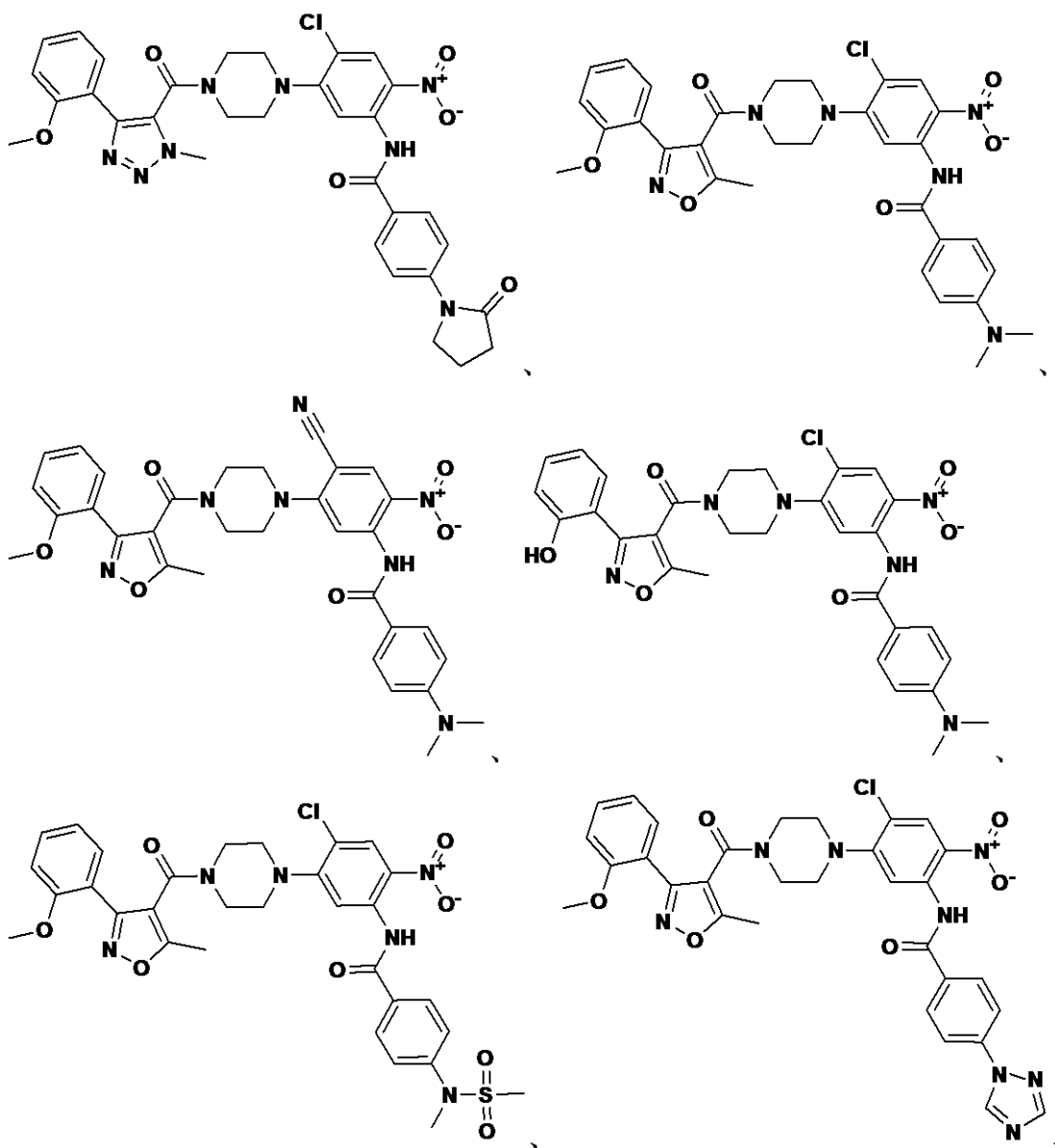
W が、 $-\text{NO}_2$  または  $-\text{Br}$  である、請求項 1 6 に記載の化合物。

## 【請求項 2 5】

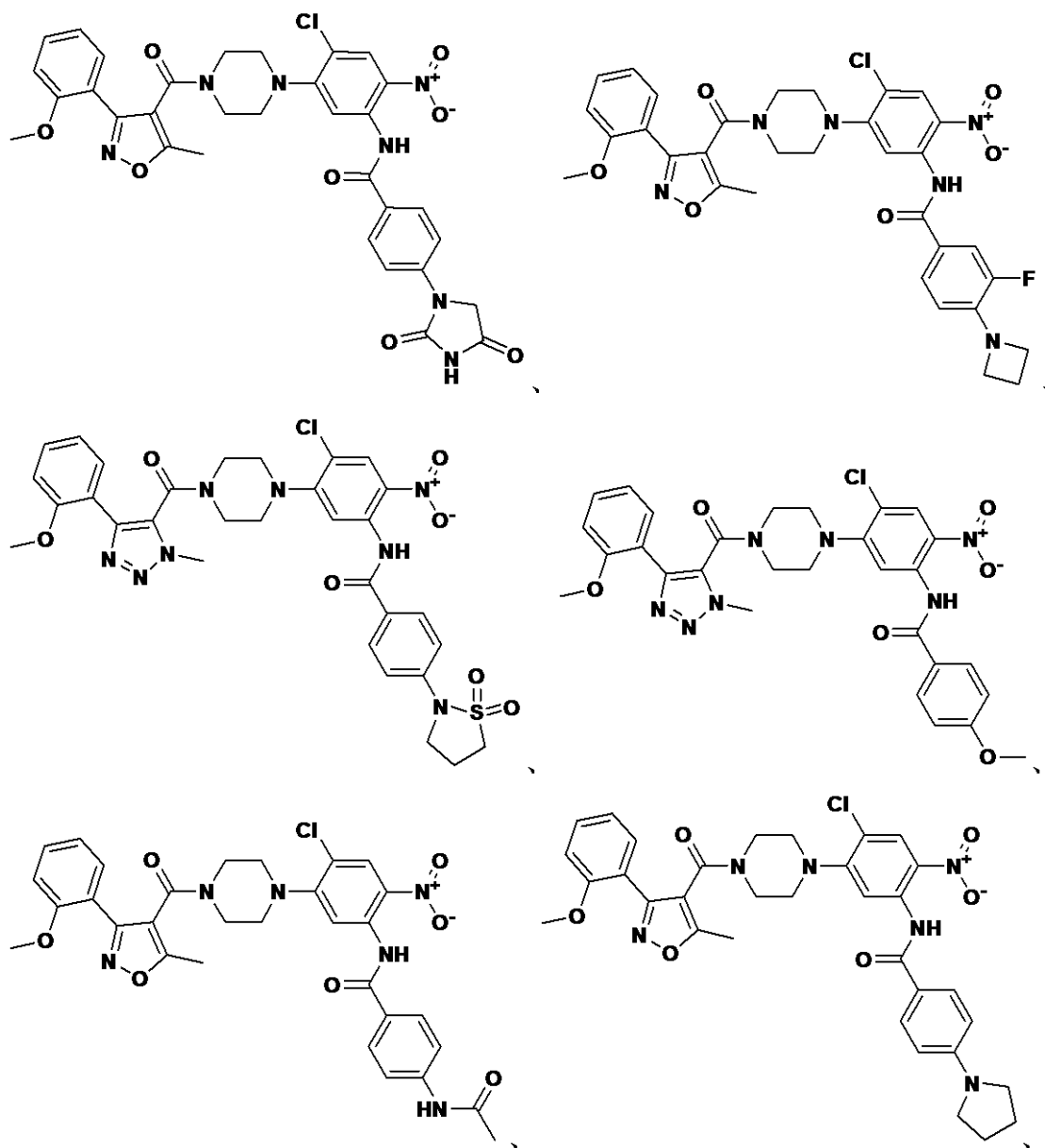
Y が、 $-\text{CH}$  である、請求項 1 8 に記載の化合物。

## 【請求項 2 6】

## 【化 9】

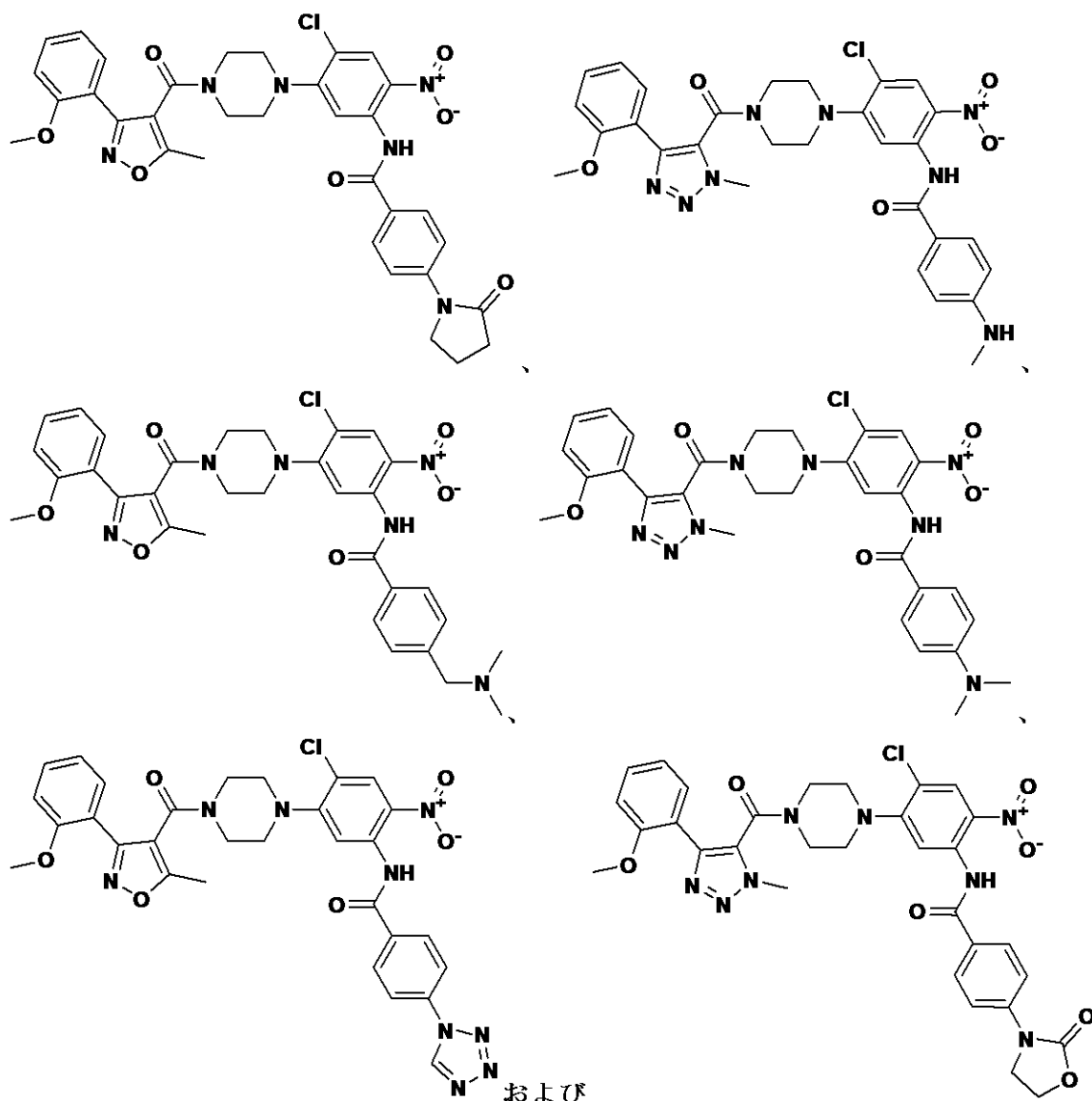


【化 10】





## 【化 1 1】



からなる群から選択される化合物。

## 【請求項 27】

抗ウイルス有効量の 1 つまたはそれ以上の請求項 1 ~ 26 のいずれか 1 項に記載の化合物を、1 つまたはそれ以上の医薬的に許容される担体、賦形剤または希釈剤と共に含む、医薬組成物。

## 【請求項 28】

請求項 1 ~ 26 のいずれか 1 項に記載の化合物および 1 つまたはそれ以上の医薬的に許容される担体、賦形剤または希釈剤を含む、インフルエンザウイルスに感染した哺乳類の治療剤。